



『ひかり』の声

スクールカウンセラー（SC）秋山邦久・三浦奉宣・伊勢谷凡子・上村佐知子・
佐々木百合・佐藤さゆ里・菅原由起子・濱田拓・浅沼知一（文責）

【学校行事と集団パワー】

仙北市の児童・生徒、保護者、教職員の皆さん、こんにちは。
すっかり秋らしい気候になり、夕方に暗くなる時間も早くなりました。
部活や学校祭・学習発表会の準備等で帰宅が遅くなる方は、交通事故
などに気を付けて下さいね。



先週、近くの中学校在校祭でしたので、短い時間ですが見学してきました。ちょうど、地域の伝統的な手踊りをクラスごとに披露し、来場者が良かったと思うクラスに投票する...というプログラムが始まったタイミング。衣装やメイク、一発ギャグ等を工夫してアピールしていたクラスもありましたが、自分が投票したのは一見最も地味（衣装は制服と揃いの白ハチマキ程度）だけど、集中力と一体感がある（と感じられた）クラス。

奇抜な衣装やメイク、流行りのギャグ等は瞬間的には目を引き、笑いや歓声を起こしますが、評価には結びつかないのかもしれないかもしれません。プログラム最後の結果発表で、一番票を集めて優勝したのは、このクラスでした。



地味でマジメだから良い、ということではないのだと思います。
自分自身、マジメな人間ではなく、伝統を重んじるタイプでもありませんが、一番面白いと思ったのが上記のクラスだったワケで。

多分、他のクラスが「ウケ狙い」のパフォーマンスや、生徒個々のキャラクターを目立たせることにエネルギーを使ったのに対し、このクラスは本来の課題である「踊り」を重視し、メンバー個々ではなくクラス＝集団の力を引き出そうとしていたのでしょう。観客は「個別・瞬間・周辺の面白さ」より、「集団・全体のまとまり」を評価したのだと思います。

課題は古臭くてツマラナイ（失礼？）伝統手踊りでしたが、約30人の集団が心を合わせて統制のとれた動きをすることで、パワーが生み出され、魅力的な表現（パフォーマンス）に変わって行った...ということなのでしょう。

ゲシュタルト心理学に「全体は部分の単なる総和ではない」という言葉があります。集団としてのパワーは、メンバー個々の力の合計値ではない...ということをお忘れなく。

10月カウンセラー出務日時（予定）

角館中 1日(水)13:00~17:00(菅原)
8日(水)13:00~17:00(菅原)
29日(水)13:00~17:00(菅原)
神代中 8日(水)09:30~12:30(濱田)
20日(月)13:30~17:30(濱田)
生保内中 9日(木)12:45~16:45(三浦)
23日(木)12:45~16:45(三浦)
西明寺中 6日(月)13:30~17:30(濱田)
24日(金)13:30~17:30(濱田)
桧木内中 8日(水)13:30~17:30(濱田)
27日(月)12:30~16:30(濱田)

※ 右記の先生に電話で直接申し込むか、
担任の先生等を通じての申し込みも出来ます。

角館中 TEL: 53-2411
(担当: 照井 節子先生)

神代中 TEL: 44-2110
(担当: 柴田 教頭先生)

生保内中 TEL: 43-1181
(担当: 門脇 教頭先生)

西明寺中 TEL: 47-2626
(担当: 布谷 教頭先生)

桧木内中 TEL: 48-2330
(担当: 三浦 明美先生)

北浦教育文化研究所: 43-3387
(担当: 浦山先生・三浦先生・梁田先生)